1 商品と対象 | J-クレジット商品組込設計

商品と排出の対象を整理します。わからない欄は空欄のまま進めてください。

記入欄に現時点の情報を書く → 状況を選ぶ（未着手・確認中・確認済） → 未決定事項を関係者で確認

排出量算定、環境表示の適否、在庫と取引条件は、関係者が個別に確認します。

段階	確認項目	記入欄	考える目安	状況
商品	商品・サービス名		商品名と販売単位を記入。複数商品は分けて整理する。	
商品	対象顧客と提供価値		誰に、どのような価値を提供するか。商品の本来の便益も書く。	
商品	販売単位と予定時期		１件、１配送、１契約などの単位と販売・集計の時期。	
対象	オフセットする排出の範囲		対象の活動と、含めない排出を明記する。	
対象	排出量の算定根拠		活動量、排出係数、計算方法、確認者を記入。未確認値は表示に使わない。	
対象	販売実績の記録方法		販売数の集計者・頻度・返品や取消の扱いを決める。	
調達	クレジットの希望条件		由来・地域・予算・希望時期を記入。在庫、価格、納期は都度確認する。	

続きは「2 調達と表示」シートへ。販売開始前に、排出量の算定根拠と担当者を確認してください。

カーボンリンク株式会社 | 商品開発の相談・見積もり：https://carbonlink.co.jp/carbon-offset/product-development

2 調達と表示 | J-クレジット商品組込設計

調達、証憑、顧客への表示、費用を整理します。

記入欄に現時点の情報を書く → 状況を選ぶ（未着手・確認中・確認済） → 未決定事項を関係者で確認

排出量算定、環境表示の適否、在庫と取引条件は、関係者が個別に確認します。

段階	確認項目	記入欄	考える目安	状況
調達	**調達・無効化の時期**		実績確定後の購入と無効化の時期、依頼者・実行者を整理する。	
調達	**必要な証憑と保管者**		無効化通知書、取引書類、販売実績、算定根拠の保管者。	
表示	**顧客への表示案**		対象とオフセットの範囲を明確に。商品自体の排出削減や認証と混同しない。	
表示	**表示の確認者**		販売元、法務、広報、専門家と最終承認者。	
費用	**初期設計と調達費用**		初期構築費用とクレジット代金・手数料を分け、個別見積で確認。	
進行	**次の行動・担当・期限**		次の事項、担当者、期限を記入する。	
必要量の参考計算（原単位を確認した後に使用）				
確認済み原単位（t-CO2e／販売単位）			算定方法と確認者を先に確定する。	
対象販売数（販売単位）			実績数か予定数かを、前ページの販売単位欄に明記する。	
参考必要量（t-CO2e）			原単位 × 対象販売数。購入量や無効化量の確約ではない。	

カーボンリンク株式会社 | 商品開発の相談・見積もり：https://carbonlink.co.jp/carbon-offset/product-development

記入例と確認事項

架空の配送サービスを想定した例です。数値、銘柄、取引条件は示していません。

項目	記入例	確認する理由
対象	配送サービスの提供に伴う排出を対象とする案。対象配送と除外範囲は未定。	範囲が決まると、必要量と顧客向け表示を検討できる。
算定根拠	配送距離などの活動量データと計算方法を社内で確認中。	算定責任者と方法を決め、未確認値を表示に使わない。
販売実績	対象配送を月ごとに集計する案。取消の扱いは未定。	集計範囲と頻度を揃える。
調達・無効化	実績確認後に候補の在庫と条件を照会する案。	調達量、価格、納期を先に確約しない。
表示	「対象配送の排出をオフセット」という案。文言は未承認。	対象範囲、算定根拠、無効化の事実を確認する。
次の行動	販売元が対象範囲を決め、算定担当者と表示確認者を指定する。	担当者と期限を置く。

このシートで確約せず、個別に確認すること

- 排出量の算定方法、販売元によるデータ・結果の確認
- 環境表示と顧客先・プログラム要件の最終確認
- クレジットの銘柄、在庫、価格、数量、納期、無効化手続き
- 初期設計の範囲、着手金、調達費用・手数料、役割分担

出典：カーボンリンク「オフセット商品開発支援」公開ページ（2026年10月27日確認）